

中学校第1学年 国語

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	24	68.1
	主として「活用」に関する問題	3	43.3
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	1	87.6
	書くこと	3	62.7
	読むこと	9	56.0
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	14	70.8
評価の観点	話す・聞く能力	1	87.6
	書く能力	3	62.7
	読む能力	9	56.0
	言語についての知識・理解・技能	14	70.8
問題形式	選択式	11	72.7
	短答式	13	64.6
	記述式	3	43.8

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			県全体正答率(%)
				話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	
1-1-1)	文脈に即して漢字を正しく書く(迷う)	○			○			○			○			85.7
1-1-2)	文脈に即して漢字を正しく書く(両側)	○			○			○			○			86.1
1-1-3)	文脈に即して漢字を正しく読む(うつる)	○			○			○			○			97.3
1-2-4)	人物の言動から心情を理解する	○			○			○			○			45.6
1-3-5)	文脈や登場人物の心情にふさわしい語を選ぶ	○			○			○			○			78.6
1-4-6)	表現の効果や意図を理解する	○			○			○			○			74.7
1-5-7)	文章の内容を的確にとらえ、目的に応じて要約して書く	○			○			○			○			57.8
2-1-8)	慣用句の正しい使い方を理解する(口がかたい)	○			○			○			○			91.7
2-1-9)	語句の意味を正しく理解し、文脈の中で適切に使う(好感)	○			○			○			○			44.3
2-1-10)	語句の意味を正しく理解し、文脈の中で適切に使う(わかまえる)	○			○			○			○			80.4
2-1-11)	ことわざの正しい使い方を理解する	○			○			○			○			59.2
2-1-12)	語句と語句の関連について判別する	○			○			○			○			81.2
2-2-13)	接続語や指示語などに注意して、文を整理する	○			○			○			○			75.8
2-2-14)	文の成分(主語)について理解する	○			○			○			○			32.8
3-1-15)	文脈に即して漢字を正しく読む(こくもつ)	○			○			○			○			84.3
3-1-16)	文脈に即して漢字を正しく書く(議論)	○			○			○			○			43.3

中学校第1学年 国語

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	24	68.1
	主として「活用」に関する問題	3	43.3
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	1	87.6
	書くこと	3	62.7
	読むこと	9	56.0
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	14	70.8
評価の観点	話す・聞く能力	1	87.6
	書く能力	3	62.7
	読む能力	9	56.0
	言語についての知識・理解・技能	14	70.8
問題形式	選択式	11	72.7
	短答式	13	64.6
	記述式	3	43.8

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			県全体正答率(%)
				話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	
3-1-3-17	文脈に即して漢字を正しく書く(子孫)	○					○			○		○		68.1
3-1-4-18	文脈に即して漢字を正しく読む(ふしめ)	○					○			○		○		58.9
3-2-	19) 文脈に即した接続詞を選ぶ(しかし)	○				○			○		○			70.9
3-3-	20) 必要な情報を読み取り, 整理して書く		○			○			○			○		23.7
3-4-	21) 文章の構成と展開を理解する	○				○			○			○		25.5
3-5-	22) 内容を正確にとらえて, 該当するものを選ぶ	○				○			○		○			54.9
3-6-	23) 内容をとりえて, 題名を完成させる	○				○			○			○		70.9
4-1-	24) 資料に書かれた情報をとらえる	○				○			○			○		78.1
4-1-	25) 資料に書かれた情報をとらえる	○				○			○			○		59.2
4-2-	26) 相手の話を聞き, 表現の特徴をつかむ	○		○				○			○			87.6
4-3-	27) 自分の考えを根拠を明確にして書く		○			○			○			○		48.5

中学校第1学年 数学

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	20	59.1
	主として「活用」に関する問題	5	32.9
学習指導要領の領域	数と式	18	55.5
	図形	4	45.5
	関数	2	46.2
	資料の活用	1	72.1
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0	—
	数学的な見方や考え方	6	25.0
	数学的な技能	11	58.7
	数量や図形などについての知識・理解	8	68.8
問題形式	選択式	6	61.5
	短答式	15	54.9
	記述式	4	38.4

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			県全体正答率(%)
				数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	
1 (1) 1)	分数の除法の計算ができる	○	○					○				○			87.4
1 (2) 2)	加減乗除を含む正の数の計算において、きまりにしたがって計算することができる	○	○					○				○			79.7
1 (3) 3)	指数を含む正の数と負の数の計算ができる	○	○					○				○			68.1
1 (4) 4)	絶対値の意味を理解している	○	○						○			○			81.4
1 (5) 5)	正の数と負の数の意味を、実生活の場面に結びつけて理解している	○	○						○			○			81.0
1 (6) 6)	数の集合と四則計算の可能性について理解している	○	○						○	○					72.9
2 (1) 7)	整式どうしの減法の計算ができる	○	○					○				○			51.5
2 (2) 8)	式に表現された数量の意味を図と関連付けて理解することができる		○	○					○				○		59.4
2 (3) 9)	簡単な比例式を解くことができる	○	○					○				○			69.4
3 (1) 10)	方程式を解く場面における等式の性質の使い方について理解している	○	○						○	○					75.0
3 (2) 11)	小数を含む一元一次方程式を解くことができる	○	○					○				○			70.7
3 (3) 12)	2通りに表わされる数量に着目し、文字を用いた式や数で表し、一元一次方程式をつくることができる	○	○					○				○			39.5
4 (1) 13)	円の定義から三角形の等辺をとらえ、二等辺三角形の性質から頂角の大きさを求めることができる	○		○				○				○			68.0
4 (2) 14)	円周の長さを求めることができる	○		○				○				○			34.2

中学校第1学年 数学

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	20	59.1
	主として「活用」に関する問題	5	32.9
学習指導要領の領域	数と式	18	55.5
	図形	4	45.5
	関数	2	46.2
	資料の活用	1	72.1
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0	—
	数学的な見方や考え方	6	25.0
	数学的な技能	11	58.7
	数量や図形などについての知識・理解	8	68.8
問題形式	選択式	6	61.5
	短答式	15	54.9
	記述式	4	38.4

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			県全体正答率(%)
				数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	
4 (3) 15)	空間における2つの平面の位置関係について理解している	○			○						○	○			39.8
5	与えられた資料のグラフに表わされている事柄を読み取ることができる	○					○			○			○		72.1
6 (1) 17)	数量の関係を文字式に表わすことができる	○		○						○			○		4.1
6 (2) 18)	具体的な事象について、比例の関係を式に表わすことができる	○		○						○	○				91.2
6 (3) 19)	具体的な事象の中には比例を用いてとらえられるものがあることを理解している	○				○				○	○				50.0
7	ある規則にしたがって表された整数の和の並びについて規則を読み取り、その先の結果を推測することができる	○		○					○				○		17.3
7	ある規則にしたがって表された整数の和の並びについて規則を読み取り、その先の結果を活用して解を求めることができる	○		○					○				○		10.7
8	単位量当たりの大きさを求め、説明することができる	○		○					○				○		34.5
9 (1) 23)	示された情報を解釈し、基準量と比較量の関係を正しくとらえることができる	○		○					○				○		4.9
9 (2) 24)	事象における数量の関係を見だし、問題解決の方法を数学的に説明することができる	○				○			○				○		42.4
10	展開図で示された空間図形について、面の位置関係をとらえることができる	○				○			○				○		40.2

中学校第2学年 国語

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	23	64.5
	主として「活用」に関する問題	3	44.4
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	2	56.2
	書くこと	2	49.6
	読むこと	10	62.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	12	65.2
評価の観点	関心・意欲・態度	2	56.2
	書く能力	2	49.6
	読む能力	10	62.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する知識	12	65.2
問題形式	選択式	8	69.5
	短答式	15	61.9
	記述式	3	44.5

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域			評価の観点			問題形式			県全体正答率(%)
				話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	伝統的な言語文化と国語の特質に関する知識	選択式	短答式	
1-1-1)	文脈に即して漢字を正しく書く(座って)	○				○			○		○		89.1
1-1-2)	文脈に即して漢字を正しく書く(触る)	○				○			○		○		51.9
1-1-3)	文脈に即して漢字を正しく読む(はんば)	○				○			○		○		90.1
1-2-4)	文脈にふさわしい修飾語(副詞)を選ぶ	○				○			○		○		84.4
1-3-5)	文脈や描写に着目して登場人物の心情を読み取る	○				○			○		○		92.4
1-4-6)	文脈に即して語句の意味を正しく捉える	○				○			○		○		57.0
1-5-7)	自分の考えと関連づけて理由を明確にしながらかく		○		○				○			○	71.0
2-1-8)	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む(おもえども)	○				○			○		○		57.0
2-2-9)	動作の主体を捉える	○				○			○	○			70.4
2-3-10)	古語の文脈上の意味を的確に捉える	○				○			○	○			43.6
2-4-11)	古典と現代文とを対応させて内容を捉える	○				○			○		○		48.9
2-5-12)	登場人物の心情やものの考え方をつかむ	○				○			○		○		32.0
3-1-13)	文脈に即して漢字を正しく読む(なつとく)	○				○			○		○		96.0
3-1-14)	文脈に即して漢字を正しく書く(的確さ)	○				○			○		○		49.5
3-1-15)	文脈に即して漢字を正しく書く(専門的な)	○				○			○		○		60.2

中学校第2学年 国語

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	23	64.5
	主として「活用」に関する問題	3	44.4
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	2	56.2
	書くこと	2	49.6
	読むこと	10	62.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	12	65.2
評価の観点	関心・意欲・態度	2	56.2
	書く能力	2	49.6
	読む能力	10	62.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する知識	12	65.2
問題形式	選択式	8	69.5
	短答式	15	61.9
	記述式	3	44.5

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			県全体正答率(%)
				話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	伝統的な言語文化と国語の特質に関する知識	選択式	短答式	記述式	
3-4-16	文脈に即して漢字を正しく読む(すぐれて)	○				○			○			○			94.4
3-17	文章全体の構成や展開を捉える(接続詞の働き)	○				○			○		○				69.1
3-18	とらえた情報を,条件にあうように的確に表現する		○			○			○				○		34.2
3-19	事実と意見を文末表現から読み分ける	○				○			○			○			47.6
3-20	必要な情報を的確に読み取る	○				○			○			○			42.3
3-21	必要な情報を読み取り,該当するものを選ぶ	○				○			○		○				83.5
4-22	前後の表現に注意しながら,内容を的確に捉える	○	○					○			○				81.1
4-23	発言の違いを的確にとらえ,それぞれの作成資料を選ぶ	○	○					○			○				31.3
4-B-24	読み取った情報を,条件に合うように的確に表現する	○				○			○			○			44.8
4-C-25	読み取った情報を,条件に合うように的確に表現する	○				○			○			○			67.5
4-26	話し合いの内容を受けて,選んだ理由を適切に説明する		○			○			○				○		27.9

中学校第2学年 数学

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	19	63.5
	主として「活用」に関する問題	5	28.5
学習指導要領の領域	数と式	13	62.1
	図形	6	47.5
	関数	4	54.9
	資料の活用	1	37.3
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0	—
	数学的な見方や考え方	5	28.4
	数学的な技能	10	66.2
	数量や図形などについての知識・理解	9	60.6
問題形式	選択式	6	61.7
	短答式	15	59.5
	記述式	3	28.9

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			県全体正答率(%)
				数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	
1 (1) 1	分数の除法の計算ができる	○	○					○				○			84.2
1 (2) 2	加減乗除を含む正の数の計算において、きまりにしたがって計算することができる	○	○					○				○			82.0
1 (3) 3	指数を含む正の数と負の数の計算ができる	○	○					○				○			70.8
1 (4) 4	正の数と負の数の意味を、実生活の場面に結びつけて理解している	○	○						○			○			82.2
2 (1) 5	整式どうしの減法の計算ができる	○	○					○				○			77.9
2 (2) 6	文字式に数を代入して式の値を求めることができる	○	○					○				○			86.7
2 (3) 7	数量の関係を文字式に表すことができる	○	○					○				○			7.7
3 (1) 8	等式の変形に用いられている等式の性質を理解している	○	○						○	○					77.3
3 (2) 9	簡単な連立方程式を解くことができる	○	○					○				○			77.0
3 (3) 10	着目する必要がある数量を見だし、その数量に着目し連立二元一次方程式をつくることができる	○	○					○				○			54.5
4 (1) 11	図形の回転移動について、移動前と移動後の2つの図形の辺や角の対応を読み取ることができる	○		○							○	○			63.2
4 (2) 12	角の二等分線の作図方法を図形の対称性に着目して見直すことができる	○		○							○	○			56.6
5 (1) 13	空間における直線と平面の位置関係について理解している	○		○							○	○			61.5
5 (2) 14	底面が合同で高さが等しい円錐と円柱の体積の関係について理解している	○		○							○	○			48.3
6 (1) 15	関数の意味を理解している	○			○						○	○			72.2

中学校第2学年 数学

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	19	63.5
	主として「活用」に関する問題	5	28.5
学習指導要領の領域	数と式	13	62.1
	図形	6	47.5
	関数	4	54.9
	資料の活用	1	37.3
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0	—
	数学的な見方や考え方	5	28.4
	数学的な技能	10	66.2
	数量や図形などについての知識・理解	9	60.6
問題形式	選択式	6	61.7
	短答式	15	59.5
	記述式	3	28.9

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			県全体正答率(%)	
				数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式		記述式
6 (2) 16	一次関数の表から、変化の割合を求めることができる	○			○				○			○			75.9
6 (3) 17	与えられた比例のグラフからxの変域に対応するyの変域を求めることができる	○				○			○			○			45.2
7 18	与えられた資料のヒストグラムにおいて、最頻値の意味を理解している	○					○			○		○			37.3
8 (1) 19	文字を用いた式で数量の関係を説明するための構想を理解している	○		○						○		○			46.4
8 (2) 20	事象が成り立つ理由を、構想を利用して説明することができる		○	○					○				○		34.3
8 (3) 21	新たな規則を見つけ、事象が成り立つ理由を構想を立てて説明することができる		○	○					○				○		26.0
9 22	2つの数量関係を見出し、事象を理想化・単純化して問題解決する方法を説明することができる		○			○			○				○		26.4
10 (1) 23	平面図形と空間図形を関連付けて事象を考察し、空間図形を投影した平面図形を見て課題を解決することができる		○		○				○				○		31.4
10 (2) 24	平面図形と空間図形を関連付けて事象を考察し、その特徴を的確にとらえ、表現することができる		○		○				○				○		24.3



中学校第2学年 社会（地理的分野）

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数（問）	県全体正答率（%）
問題	主として「知識」に関する問題	9	39.0
	主として「活用」に関する問題	4	51.2
学習指導要領の領域	世界の地域構成	2	46.7
	世界各地の人々の生活と環境	3	65.4
	世界の諸地域	5	33.5
	世界のさまざまな地域の調査	0	—
	日本の地域構成	3	32.7
	世界と比べた日本の地域的特色	0	—
	社会的事象への関心・意欲・態度	0	—
評価の観点	社会的な思考・判断・表現	4	51.2
	資料活用の技能	5	39.0
	社会的事象についての知識・理解	4	43.8
	問題形式		
問題形式	選択式	8	43.8
	短答式	2	24.7
	記述式	3	51.9

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域						評価の観点			問題形式			県全体正答率（%）
				世界の地域構成	世界各地の人々の生活と環境	世界の諸地域	世界のさまざまな地域の調査	日本の地域構成	世界と比べた日本の地域的特色	社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解	選択式	短答式	
1 (1) 1)	世界の主な国の位置と名称を地球表面の姿として理解している	○	○								○	○		45.2		
1 (2) 2)	写真資料から、世界各地の人々のくらしの様子を読み取ることができる	○		○						○	○		65.4			
1 (3) 3)	地球表面から正しい経線を読み取ることができる	○		○						○	○		48.3			
2 (1) 4)	世界の主な宗教の分布について理解している	○		○						○	○		69.8			
2 (2) 5)	特色ある自然環境（熱帯）と生活様式（住居）を関連付けて理解している		○	○					○	○	○		61.1			
3 (1) 6)	ヨーロッパの農業の特色について、気候と関連付けて理解している		○		○				○	○	○		30.0			
3 (2) 7)	資料から、EU（EC）加盟国の特徴について読み取ることができる	○			○				○	○	○		19.8			
3 (3) 8)	EU加盟国の間の通行の特徴について説明することができる		○		○				○			○	62.8			
4 (1) 9)	アメリカ合衆国の工業の変化について理解している	○			○					○	○		4.2			
4 (2) 10)	複数の資料から読み取ることのできる情報をもとに、アメリカの農業の特色を説明することができる		○		○				○			○	51.0			
5 (1) 11)	日本の都道府県の位置を正確に理解している	○				○				○	○		36.6			
5 (2) 12)	複数の資料から、日本の農業（畜産）の特徴について読み取ることができる	○				○			○	○	○		19.4			
5 (3) 13)	人口ピラミッドを完成させ、そこから日本の人口の特色を読み取ることができる	○				○			○			○	42.1			

中学校第2学年 社会（歴史的分野）

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数（問）	県全体正答率（%）
問題	主として「知識」に関する問題	9	35.6
	主として「活用」に関する問題	3	21.0
学習指導要領の領域	歴史のとらえ方	6	27.6
	古代までの日本	1	10.9
	中世の日本	3	36.7
	近世の日本	2	48.6
評価の観点	社会的事象への関心・意欲・態度	0	—
	社会的な思考・判断・表現	3	21.0
	資料活用技能	1	12.5
	社会的事象についての知識・理解	8	38.5
問題形式	選択式	7	37.4
	短答式	2	29.6
	記述式	3	21.0

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			県全体正答率（%）
				歴史のとらえ方	古代までの日本	中世の日本	近世の日本	社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用技能	社会的事象についての知識・理解	選択式	短答式	
6 (1) 14	聖徳太子、徳川家光の行った政治について理解している	○	○						○	○			48.3	
6 (2) 15	室町時代のできごとについて理解している	○				○			○	○			36.3	
6 (3) 16	「鎖国」下における我が国の対外関係について理解している	○					○		○	○			57.6	
7 (1) 17	ザビエルが来日した頃（戦国時代）の我が国の様子について理解している	○				○			○	○			42.2	
7 (2) 18	各時代と関係の深い中国の王朝名について理解している	○	○						○	○			39.5	
7 (3) 19	鎌倉幕府、室町幕府、江戸幕府の位置を読み取ることができる	○	○					○		○			12.5	
7 (4) 20	勘合貿易、南蛮貿易の特徴について説明することができる		○	○				○				○	20.8	
8 (1) 21	奈良の大仏に関係の深い人物と文化について理解している	○			○				○		○		10.9	
8 (2) 22	応仁の乱後の下剋上の風潮について説明することができる		○			○		○				○	31.7	
8 (3) 23	江戸時代の大坂のようすについて理解している	○					○		○	○			39.6	
9 (1) 24	源頼朝の政策と江戸時代の農業の様子について理解している	○	○						○	○			33.8	
9 (2) 25	承久の乱、刀狩についてその内容と結果について説明することができる		○	○				○				○	10.5	

中学校第2学年 理科

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	19	40.0
	主として「活用」に関する問題	6	48.4
学習指導要領の領域	物質	8	40.5
	エネルギー	6	25.2
	生命	6	64.2
	地球	5	37.8
評価の観点	自然事象への関心・意欲・態度	0	—
	科学的な思考・表現	10	38.2
	観察・実験の技能	3	38.1
	自然事象についての知識・理解	12	46.3
問題形式	選択式	8	33.0
	短答式	11	45.4
	記述式	6	48.4

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点		問題形式			県全体正答率(%)
				物質	エネルギー	生命	地球	自然事象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	選択式	
1 (1) 1)	銅の酸化の質量変化について、理解している	○	○	○					○		○		48.3
1 (2) 2)	実験結果を適切にグラフに表すことができる	○	○	○				○			○		42.4
1 (3) 3)	銅と酸素の結合比を用いて、未反応の銅の質量を求めることができる	○		○				○			○		10.1
2 (1) 4)	水の電気分解における水酸化ナトリウムの添加の意味を理解している	○	○	○					○		○		70.5
2 (2) 5)	化学変化に関係する分子の数について、モデル図から読み取ることができる	○		○				○			○		53.0
2 (3) 6)	水の電気分解について、化学反応式を書くことができる		○	○					○		○		46.3
3 (1) 7)	ヨウ素溶液の働きについて理解している	○				○			○		○		77.4
3 (2) ① 8)	求める結果を得るための実験条件について正しく設定できる	○					○			○			60.0
3 (2) ② 9)	求める結果を得るための実験条件について正しく設定できる	○					○			○			63.2
4 (1) 10)	気孔について理解している	○				○			○		○		71.5
4 (2) 11)	実験結果を分析し考察することができる	○					○				○		82.6
4 (3) 12)	実験結果を分析し、結果を予想することができる	○					○			○			30.5
5 (1) 13)	ガスバーナーの基本的な使い方について理解している	○			○				○		○		21.8
5 (2) 14)	有機物と無機物を構成する元素の違いについて理解している	○	○						○		○		31.7
6 (1) 15)	レンズの中心を通る光は曲がらないことを理解し、光の道すじを作図できる	○			○				○		○		51.0
6 (2) 16)	実像と虚像を区別できるとともに、像の大きさについて判別できる	○			○			○			○		29.5
6 (3) 17)	作図により、焦点を求めることができる	○			○			○			○		21.4
7 (1) 18)	重力について理解している	○			○				○	○			28.5

中学校第2学年 理科

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	19	40.0
	主として「活用」に関する問題	6	48.4
学習指導要領の領域	物質	8	40.5
	エネルギー	6	25.2
	生命	6	64.2
	地球	5	37.8
評価の観点	自然事象への関心・意欲・態度	0	—
	科学的な思考・表現	10	38.2
	観察・実験の技能	3	38.1
	自然事象についての知識・理解	12	46.3
問題形式	選択式	8	33.0
	短答式	11	45.4
	記述式	6	48.4

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			県全体正答率(%)	
				物質	エネルギー	生命	地球	自然事象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	選択式	短答式		記述式
7 (2) 19)	圧力について理解している	○			○				○			○			14.5
7 (3) 20)	1 Paの圧力について、1 cm <sup>2</sup> あたりの力の大きさに換算できる	○				○						○	○		6.0
8 (1) 21)	実験データをグラフから考察できる	○					○		○				○		50.3
8 (2) 22)	実験結果を基に考察することができる	○					○		○				○		14.4
9 (1) 23)	堆積岩ができる場所について理解している	○					○			○	○				23.5
9 (2) ① 24)	岩石の種類と成因について理解している	○					○			○		○			50.2
9 (2) ② 25)	岩石の種類と成因について理解している	○					○			○		○			50.8

中学校第2学年 英語

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	19	59.7
	主として「活用」に関する問題	6	29.2
学習指導要領の領域	聞く	6	80.8
	読む	12	55.2
	書く	7	23.2
評価の観点	理解	16	68.3
	表現	6	24.8
	言語・文化	3	22.4
問題形式	選択式	12	72.3
	短答式	7	38.1
	記述式	6	29.3

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域			評価の観点			問題形式			県全体正答率(%)
				聞く	読む	書く	理解	表現	言語・文化	選択式	短答式	記述式	
1 (1) 1)	英語を聞いて詳細を理解する	○	○			○			○			85.0	
1 (2) 2)	英語を聞いて詳細を理解する	○	○			○			○			91.7	
1 (3) 3)	英語を聞いて詳細を理解する	○	○			○			○			94.1	
2 (1) 4)	英語での問いかけに応答する	○	○			○			○			69.9	
2 (2) 5)	英語での問いかけに応答する	○	○			○			○			71.8	
2 (3) 6)	英語での問いかけに応答する	○	○			○			○			72.5	
3 (1) 7)	英語の対話文を読み、その内容についての質問に対する答えを選ぶ	○			○		○		○			88.7	
3 (2) 8)	英語の対話文を読み、その内容についての質問に対する答えを選ぶ	○			○		○		○			57.2	
3 (3) 9)	英語の対話文を読み、その内容についての質問に対する答えを選ぶ	○			○		○		○			60.2	
3 (4) 10)	英語の対話文を読み、その内容についての質問に対する答えを選ぶ	○			○		○		○			71.2	
3 (5) 11)	英文を読み、その内容についての質問に対する答えを書く	○			○		○			○		44.6	
4 (1) 12)	対話文を読み、対話の流れに合う英文を選択肢の中から選ぶ	○			○		○		○			67.8	
4 (2) 13)	対話文を読み、その内容についての質問に対する答えを書く		○		○		○				○	35.2	
4 (3) 14)	対話文の流れに合うように、適切な語を書く	○			○		○			○		18.2	
5 (1) ① 15)	前後の英文から意味のつながりを考えて、( )内に適切な英語を書く	○			○		○		○			22.2	
5 (2) ② 16)	前後の英文から意味のつながりを考えて、( )内に適切な英語を書く	○			○		○		○			17.9	
5 (3) ③ 17)	与えられた条件に合うように、英文を書く		○		○		○				○	6.8	

中学校第2学年 英語

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	19	59.7
	主として「活用」に関する問題	6	29.2
学習指導要領の領域	聞く	6	80.8
	読む	12	55.2
	書く	7	23.2
評価の観点	理解	16	68.3
	表現	6	24.8
	言語・文化	3	22.4
問題形式	選択式	12	72.3
	短答式	7	38.1
	記述式	6	29.3

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域			評価の観点			問題形式			県全体正答率(%)
				聞く	読む	書く	理解	表現	言語・文化	選択式	短答式	記述式	
5 (4) ④ 18)	前後の英文から意味のつながりを考えて、( )内に適切な英語を書く	○				○		○			○		40.7
5 (5) 19)	与えられた条件に合うように、英文を書く		○			○		○				○	22.0
6 (1) 20)	本文中の代名詞が示す人物を選択肢の中から選ぶ	○			○		○			○			37.8
6 (2) 21)	英文を読み、概要・要点を理解する		○		○		○					○	58.4
6 (3) ① 22)	英文を読み、概要・要点を理解する	○			○		○				○		50.6
6 (3) ② 23)	英文を読み、概要・要点を理解する	○			○		○				○		72.0
6 (4) 24)	英文を読み、与えられた英単語を並び替えて正しい語順で書く		○			○			○			○	38.0
6 (5) 25)	英文の内容を理解し、物語の終末を考えて英語で書く		○			○		○				○	14.8